



# 失われた大切な いのち

## 生徒の安全確保する義務 教育委員会にある

7月3日の中学3年生の転落死の事件報道がされると、市民からの問い合わせが増えています。死亡された生徒さん御家族には、ご心痛の事と思い、お掛けする言葉もありません。学校が、安心して勉学できる場であるように、安全確保する義務は教育委員会にあり一教室、学校全体、市内全体も同じことです。

### 「紛失」から「シュレッダー」 情報共有と「隠蔽」

第一報では、「いじめ」を告発したと思われる「文書」の存在そのものの情報提供が無かったようです。PTAの指摘が、学校の説明会であり、「文書」の存在が明らかにとの報道です。そして「文書」の存在を校長が知ったのが7月4日とあります。

「文書」は始め「紛失」と発表されていましたが、「シュレッダーで破棄した可能性」があると変化。そして、「担任は隠蔽したのではなく、(問題を)軽く考えていた」と釈明(岐阜新聞6日)の報道。7日報道は「文書」の存在を担任だけでなく「副主任も知っていた」死亡した生徒は1~2年生時代に「他の生徒からの嫌がらせ被害」を学校に訴えていた。との報道(中日7日)がされました。事実に変化が、まだ在るようです。

### 市民部ハラスメント事案だけの問題とされた「情報共有」

7月3日転落死事件前、6月議会で市民部のハラスメント退職問題で指摘された「情報共有」は、教育委員会には「他の部の事件」であったのか。

本紙2019年4月2号で「教育現場での不祥事 1月発生の公表が・・・4月」で児童ポルノ事件と体罰事件に触れていますが、児童ポルノ事件は警察、体罰事件は保護者からの発表と通報で明らかになるまで、教育委員会の発表はありませんでした。3月議会中での公表もありません。

2018年6月3号で『「警察に通報して」と言われ驚く、生徒指導のあり方心配する、市民の声』で「中学生の不法侵入問題」で指導を求めるA市民に「警察に通報して」と回答され「多感な中学時代の生徒指導には神経を使われ、中学生の心を思う指導をされていると期待していたが『警察に通報して』と学校に言われ、驚いています。」の声が寄せられましたが、この事案、松原のりかず訊くまで、当該学校から教育指導課に報告が上がっていなかった。「情報共有」は重要だが、それ以前の問題があるのでは。

## **豚コレラ対策 岐阜市議会の全会一致意見書のその後**

7月3日、岐阜新聞は県選出4国会議員と「豚コレラ対策」についての農林省との会議を報道。記事では「豚へのワクチン接種につて、国の考えを尋ねたが、明確な説明がなかった」と、会議は非公開と。が、議員の「豚へのワクチン接種で安心させて」との談話は報じられた。岐阜市議会意見書の努力は、一役あるでしょうか？ 県内市議会議長会でも同種の意見書が議決され、大野一生・岐阜市議会議長の談話も放送されました。

## **下水道料金 岐阜市水道審議会へ市長から諮問**

7月4日、第1回岐阜市上下水道事業経営審議会が開会され、新委員へ松原のりかずが委嘱されました。同日、柴橋市長から審議会に諮問がされました。内容は「平成28年4月に改定を実施した現行の下水道料金については、今年度末に4年間の算定期間が満了いたします。つきましては、下水道事業経営の現状及び今後の見通しを踏まえた下水道料金のあり方について、貴審議会に諮問するものであります。」とあり、下水道料金の引き上げについての諮問です。

前回の答申は平成27年11月2日に出されています。前回は、当初15%引き上げが提起されていましたが、審議過程で10.24%の料金改定とされました。景気状況や消費税に関する意見が多く出されたと記憶しております。また、北部プラントのリンプラント運営費については「年間維持費1億円を使って、リン収入500万円の実態について、これを放置したままでの下水道料金引き上げは市民の理解困難」との論議がされました。

結果、平成27年答申には「りん回収事業は、有効な資源活用を行うという観点から見れば、岐阜市全体の環境保全に寄与しているともいえることから、下水道事業に留まらず、岐阜市全体の政策として、その財政負担のあり方について、今後、十分に全市的な検討を重ねていくべきであるとの意見が示されたことを付言しておく。」と記入されましたが、答申後なんら財政政策の無いまま4年が過ぎようとしています。



松原のりかず  
☎058-253-2500